

## 決算特別委員会

◎ 開催日時 令和5年10月24日（火）9時58分～16時11分

◎ 開催場所 議員室

◎ 説明員 谷口文化スポーツ部長、大岡健康医療福祉部長、林商工観光労働部長、  
中田会計管理者、正木病院事業庁長、島戸監査委員事務局長、  
小川労働委員会事務局長および関係職員

◎ 議事の概要

1 議第110号、議第113号、報第8号、報第11号および報第12号について（部局ごとの審査）

### 【健康医療福祉部・病院事業庁所管分】

委員からは、医療機関等指導費について、在宅医療についての情報量が少ないことで機会の損失につながっていることもあることから、市町職員のコーディネート力を高め、家族が在宅医療について相談しやすい環境を整えることが大事ではないか、自殺対策推進事業について、SNSを活用した相談窓口を実施しているが、全国の自殺者を年齢別で見ると、50歳以上の割合が多くなっており、高齢者に対しては、市町と連携し、紙媒体で相談窓口を周知するなどの工夫も必要ではないか、小児保健医療センターの病床使用率の実績が示されているが、患者によって使用できる病床数が変わってくることもあることから、実態としてどのような利用状況なのかを示されたい、などの意見が出された。

### 【商工観光労働部・労働委員会事務局所管分】

委員からは、新しい働き方トライアル事業について、国のコロナ関連の交付金を活用し、コワーキングスペースで在宅ワークを体験できる事業を実施されたが、実績がまとまっていないところがあることから、コロナ後に向けた投資としてしっかりと検証し、次の施策につながるような取組とされたい、子育て女性等職業能力開発事業について、託児場所がなく女性等の再チャレンジ支援コースが実施できないこともあることから、マザーズジョブステーションでの託児の利用など、働きに出る女性が増えている事情も踏まえて、どのような形で実施するのがよいのかしっかりと検討されたい、などの意見が出された。

### 【文化スポーツ部所管分】

委員からは、安定的な文化財の保存と継承のための史跡の公有化について、限られた財源の中での取組となり計画的に優先順位をつけて対応していただいているが、相続などで土地の所有者が変わると、新しい所有者が公有化の制度自体を知らず、公有化の進捗の妨げになることもあるので、史跡の安定的な確保のために対象地域の住民にも十分御理解いただける形での取組をされたい、国スポ・障スポ大会本番に向けた

子供のスポーツに対する意識の向上について、運動やスポーツをすることが好きと答えた児童生徒の割合が、コロナ禍以前の数値を下回っている中、スポーツを好きと回答する子供たちを増やすために、小中学校へのプロスポーツ選手の派遣など、部局間で連携し取り組まれたい、などの意見が出された。



#### 委員会で配付された資料

- 1 部局別資料(健康医療福祉部)
- 2 主要施策の成果に関する説明書(健康医療福祉部)
- 3 随意・長期継続契約締結結果(健康医療福祉部)
- 4 部局別資料(病院事業会計決算)
- 5 随契契約締結結果(病院事業庁)
- 6 部局別資料(商工観光労働部・労働委員会事務局)
- 7 主要施策の成果に関する説明書(商工観光労働部)
- 8 随意契約結果(商工観光労働部)
- 9 部局別資料(文化スポーツ部)
- 10 主要施策の成果に関する説明書(文化スポーツ部)
- 11 随意契約結果(文化スポーツ部)